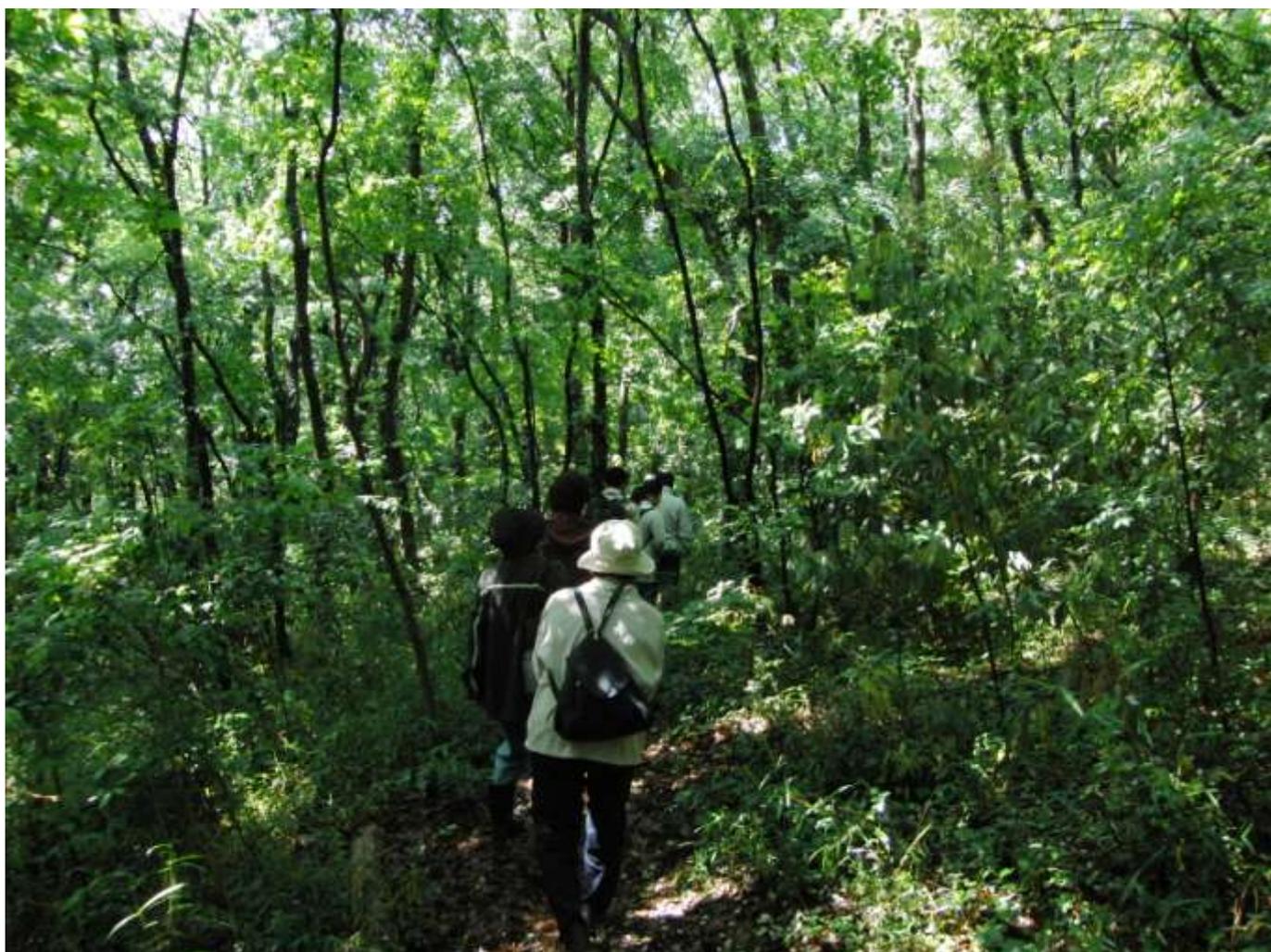


鎌ヶ谷市第二次環境基本計画

みんなで創ろう 環境のまち かまがや



平成25年3月

鎌ヶ谷市

目 次

第 1 章	計画の基本的事項	1
1-1	計画の目的	3
1-2	計画の位置づけ	4
1-3	計画期間	5
1-4	計画の対象範囲	5
第 2 章	前計画の達成状況と環境の現状	7
2-1	生活環境	9
	前計画の達成状況	9
	環境の現状	9
	(1) 大気汚染	9
	(2) 河川水質	10
	(3) 騒音・振動	11
	(4) 地盤沈下	12
	(5) 地下水汚染・土壌汚染	12
	(6) 悪臭	12
	(7) し尿処理・浄化槽	13
2-2	自然環境	14
	前計画の達成状況	14
	環境の現状	15
	(1) 樹林	15
	(2) 生物の生育環境	17
	(3) 水循環	17
2-3	文化的環境	19
	前計画の達成状況	19
	環境の現状	19
	(1) 神社などの文化財	19
	(2) 土地利用・風景・景観	19

2-4	資源循環	20
	前計画の達成状況	20
	環境の現状	20
2-5	地球環境	22
	前計画の達成状況	22
	環境の現状	22
第3章	目標とする環境像	25
3-1	鎌ヶ谷市が目指す環境像	27
3-2	重点目標	28
第4章	環境施策と環境保全行動指針	29
4-1	環境施策の体系	31
	(1) 総合基本計画と重点目標	31
	(2) 重点目標と行動指針	32
4-2	行動項目と行動目標	33
第5章	計画の推進体制	35
5-1	推進主体	37
5-2	パートナーシップ組織	38
5-3	地域ぐるみの取り組みの基盤づくり	39
5-4	進行管理システム	40
■	環境基本計画策定に係る組織等委員	43

はじめに

私たちは、大気、水、土壌、気候、地形そして動植物などの自然を享受し、地球環境・自然環境とのかかわりの中で、社会経済活動を行っています。また、私たちの生活環境は、自然とともに築かれてきた歴史や文化と切り離して考えることはできません。このため、環境問題の解消に向けて、私たち一人ひとりが、環境負荷低減に配慮した暮らしをしていくことが求められています。

鎌ヶ谷市は、「かまがやレインボープラン21（鎌ヶ谷市総合基本計画）」の「自然と社会が調和する環境共生都市」を目指し、さらに平成15年には「鎌ヶ谷市環境基本計画」の目標とする環境像にこれを位置づけるなどして、様々な環境施策を進めてきました。

本計画では、市民一人ひとりが、「知る」「考える」「行動する」ことで環境問題に取り組む基本的な方向と市民・事業者・市の各主体の具体的な参加や協働の内容と推進体制など、私たちの環境課題への取り組み姿勢を描いています。

私たち一人ひとりの暮らし方が、将来の子どもたち世代に、よりよい環境を引き継ぐうえで大きく影響することを認識し、私たちが暮らす環境を守り、創造していくよう計画を進めていきます。

最後に、計画策定にご尽力いただいたかまがや環境市民会議のみなさん並びに計画策定にあたりご審議いただいた環境審議会委員のみなさまにこころより感謝を申し上げます。

平成25年3月

鎌ヶ谷市長 清水聖士

